

プログラム		森林のサイクルを学び、木に触れてみよう		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林のはたらきや、林業・木材に関する知識を学ぶ ・ 自分たちの暮らしとの関わりを聞いて、森林・林業を身近なものとして理解を深める ・ 木に親しみ、木の良さを知る ・ 森のはたらきや木の特徴を知る事で森を大切に思う心を育む。 ・ 森を創るプロジェクト端材の活用について <p>(木のいのちを大切に)</p>		
地域		諫早市	講師	高島正太郎、菌田麻衣子 (フォレストマスター)
時間		場所	内容	
10時15分～ 10時20分	5分	植林地方面へ移動中 バスの中で	諫早青少年自然の家の正門向かい側 「憩いの散策路」側のバス駐車場で講師乗車 講師自己紹介 ～今から森を見に行きます～ みんなの思う森のイメージを質問してみる ① 動物の住む森のイメージ等 ② 家づくりで使われている木材の森について ③ 家づくりで使われている森は実は木の畑ということを伝える	
10時30分	10分	植林地の手前で下車 雑木林のある場所	動物や自然の森を体感・観察 自然気持ちいいね！！木の実があったね！！ 季節の自然から子ども達が見つけたものを元にする事で主体的で、対話的な、深い学びを引き出す。 (雑木林の植生、森は山のダムである事、落ち葉やうんち等から大地やいのちの循環、鳴き声から生物の多様性 etc.)	
10時40分	20分	植林地(畑の森)見学	植林地到着 ① ココが人工林の森になります！！伐採後の森を見せる。衝撃(これって自然破壊では?) ② よく見てみると新しい苗木があること伝える ③ 実際50年～60年の木は成長が緩やかになり、酸素や二酸化炭素を吸ったり吐いたりしないことを伝え若木の役割を伝える ④ 50年～60年の木は住宅の柱等で使われていることを	

			<p>伝える ここでクイズ 最近木材の値段が高くなった（2倍・3倍）が柱一本いくらでしょう？ ① 5000円 ②2万円 ③5万円</p>
11時00分	5分	バス乗車	水分補給
11時05分	10分	諫早青少年自然の家へ移動 車内でクイズ	<p>森の生きものクイズ「ノーズ」 生きものと人の繋がりを知りSDGsに繋げる (生徒が自分で出題する事で主体的な対話をうみだす)</p>
11時15分	5分	トイレ休憩	手指の清潔、水分補給
11時20分	35分	環境学習館	<p>木工クラフト ※生徒の人数(40名~60名程度) キットを配布し、どんな木材なのか？聞きやり方を説明する(5分) 絵本「山に木を植えました」を聞きながら木を磨く(5分)</p>
11時55分	5分		終了後昼食